

## 第6期計画策定に向けた実態調査の考え方について

これまでの高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定にあたっては、主に「どのようなサービスを利用したいか等の直接的なニーズを高齢者自身に尋ねる調査」を中心に実施していたが、特に次期計画における重点分野である地域包括ケアの基盤となる日常生活圏域ごとの傾向の違いを把握することを目的とし、その手法として国が示す「日常生活圏域ニーズ調査」を基本として調査を実施するもの。

高齢者の要介護リスク等の指標を把握・集計することにより、必要なサービスの種類・量を見込む。(数量的な把握)  
⇒虚弱、閉じこもり等の傾向の見られる高齢者が、どこで、どのような状態で、どの程度生活しているのかの把握

## 日常生活圏域ニーズ調査から計画策定までのイメージ図

